



【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】

**予測困難な時代を生き抜き、豊かな知性・教養、健やかにして自律した個性をもつ、国際社会で活躍できる調和のとれた大きな器の人間を育てる。**

- 【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】
- ① 自らの考えを醸成するための知識の習得 ～ 何をどのように学ぶか～
  - ② 新たな状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成 ～ 理解していることから、課題をどう分析し解決するか～
  - ③ 多様な学びに向かう姿勢・人間性の涵養 ～ 粘り強く取り組み、他者と協働体制を作れるか～

【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】

育成すべき資質・能力			S	A	B	C	目指すべき生徒の将来像
① 自らの考えを醸成するための知識の習得	学ぶ力	必要な知識の習得	必要な知識を系統的かつ横断的に学び、定着させている。	必要な知識を系統的に学び、定着させるよう、主体的に取り組んでいる。	必要な知識を学び、定着させるよう、主体的に取り組んでいる。	必要な知識を学ぼうとしている。	
	統合力	知識を統合する力	習得した知識を整理し、統合した上で、発展させることができる。	習得した知識を整理し、統合することができる。	習得した知識を統合しようとしている。	習得した知識を身につけようとしている。	
② 新たな状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成	課題分析力	課題を分析し検討する力	適切な観点を定め、課題を分析し、検討することができる。	観点を定め、課題を分析し、検討することができる。	課題を分析し、検討することができる。	課題を分析し、検討しようとしている。	
	問題解決力	解決策の構築	課題に対して、多面的、多角的な観点から解決策を提案し、行動することができる。	課題に対して、解決策を提案し、行動することができる。	課題に対して、解決策に気づき、行動しようとしている。	課題に対して、解決策に気づくことができる。	
③ 多様な学びに向かう姿勢・人間性の涵養	行動力	主体的かつ継続的に取り組む力	多様な教育活動において、主体的かつ継続的に取り組み、より良いものを目指して行動している。	多様な教育活動において、主体的かつ継続的に取り組み、より良いものを目指す姿勢がある。	多様な教育活動において、主体的に取り組んでいる。	特定の教育活動において、主体的に取り組んでいる。	
	集団貢献力	リーダーシップ及び他者との協調性	リーダーとして、他者と協調しつつ、全体を視野に入れて、集団を適切に導くことができる。	リーダーとして、他者と協調しつつ、全体を視野に入れて行動することができる。	他者と協調しつつ、全体を視野に入れて、自らの役割を果たすことができる。	他者を意識しつつ、自分に与えられた役割を果たそうとしている。	

予測困難な時代を生き抜き、豊かな知性・教養、健やかにして自律した個性をもつ、国際社会で活躍できる調和のとれた大きな器の人間。